

妻の日の愛のかたみに (1965)

メディア 映画

ジャンル ロマン ス ドラマ

製作国 日本

色彩 B&W

時間 89分

初公開日 1965/10/02

【解説】

歌人の池上三重子が記した同名手記をもとに、木下恵介が脚色し富本壮吉がメガホンをとった愛の物語。難病に冒された若妻が愛をまっとうするために下した決断とは。

正之と千枝子は昭和28年に見合い結婚をした。千枝子は九州の柳川に嫁ぎ、小学校の教師として働いていた。しかしある日、千枝子は指に痛みを感じチョークを取り落としてしまう。痛みはやがて全身に広がり、関節リウマチと診断される。正之の母は世間体を気にして離婚を勧めるが、正之は別府国立病院に入院した千枝子を必死に看病した。九州では子供を産めない嫁とは離縁するという風習が根強く、千枝子は自分が妻にふさわしくないのではと思い悩む。千枝子は正之に離婚を申し出るが、正之はそれを拒み続けるのだった。

【クレジット】

監督 富本壮吉

企画 原田光夫

原作 池上三重子

脚本 木下恵介

撮影 小原譲治

美術 間野重雄

音楽 木下忠司

出演 若尾文子

船越英二

滝花久子

浜村純

原泉

早川雄三

藤村志保